は、隆化縣南部の一商業地に 語が形成し南街は商戸多くの と、隆化縣南部の一商業地に 現在の市 である。現在の市

高数は地の西方元十支里の地口 の地に炭坑がよって採炭はし であるが、規模小さく僅かに であるが、規模小さく僅かに であるが、規模小さく僅かに であるが、規模小さくでは であるが、規模小さくである。 製材

た、別名を塔子溝外は建昌され、別名を塔子溝外に改め、同四十三十縣治を布を近し、同四十三十縣治を布を近近し、同四十三十縣治を布を近近し、同四十三十縣治を布を近近の地であるを持手溝線に改め、同

移出品高祭。豆魚、栗の土

が、どうしてもいる工夫は存かば さつきから繰りに参へて配るのだ で、とうしてもいる工夫は存かば

と、手を伸はして気の呼ばにか

(銀州縣由西海口、八口、

熱河省

本泉は平泉縣の署所存地で 機河を距る東方百八十支里、 機河を距る東方百八十支里、 横は一見質に繋々たちもので 南は一見質に繋々たちもので あった。市 大峰街道上の要衝に繋り、市

之に敷後の小街が交し、中街 の延長約17支里に及ぶ、家屋

赤峰等に頭かる大街道のや叉點に當り、頗る傷要の地で凌 原野 数 約 二、五〇〇月 人 口 約一八、二〇〇人 市街は五支里四方の方形に して城壁なく、南に七臂山が の高峰を望み、白浪河は 西北より東南に回流して、主 なら毎衢は東西三銭、南に七臂山が 今は市況稍々衰額し昔日の観 登の堂々たる建物をく、成 製理県け類ら隆盛を何めたが なら毎衢は東西三銭、南北三 なら毎衢は東西三銭、南北三 なら毎衢は東西三銭、南北三 なら毎個と、大街は街幅度く ・ 成 型にさはいふものし、物質の の都市たる

事情思

は言葉古祭吟爾領政大臣の 治域であつたが、乾隆元年四 治域であったが、乾隆元年四

新姑屯に移したもので、熱河の北西百二十支里にあつて、 高め、四関山岳を積したもので、熱河 に山を負ひ伊索河は市の西北 に山を負ひ伊索河は市の西北 に山を負ひ伊索河は市の西北 を流れ、数里にして蟻蟻脳河

云ひい熱何の西方百八十支里

会は、一個別の馬利在網別に於ては歌類に對する防疫投稿なく、且つ一般畜物係を缺ぎ、例へば一頭の馬が罹病せば廃す術もなく之が

獣醫の養成を

四0、九一九

蘇滿兩國間に

郵便規定制定さる

日満親善は

ピジネスから

訪日商業視察團出發

K

目下法制局で審議中 標法 輩

なすものさ川待されて男るなすものさ川待されて男る

相の「時場を滅民の覺醒」

駐支蘇聯大使

敦賀寄港

戸度開拓の

"

の を整理し得るご共に更に積極 する為め先願主義を徹底せしめた點で 使用主義を徹底せしめた點で 外頭ごけ看做し得ないから同 法では場別副内に進じて取扱 先づ使用主義を採 る

事等の計畫を樹て完全な五猷のこの母獣質単校の設立及び 醫の出現を急いで居る

英昭上院議員たる子尉ハーパの後者を止めてゐるクライブの様名を止めてゐるクライブの様

で、氏は一週間滑原の上社 ・ 大は一週間滑原の上社 ・ 大は一週間滑原の上社 ・ 大は一週間滑原の上社

本年度新京で

端洲技術協會總會開く モーニング、ポストの若手配 関すら豫定であらが、同期は であらが、同期は ・・・クライブ師は十九日横

投跡の

ななでは、小さな明り取り のをうに外が見えた。が、まだ のやうに外が見えた。が、まだ

卵の張つて臭へべつて行く。

『お前さん、おれの女房になって

そしたら、他

常者は、 電路してゐる彼女の手

既から馬鹿にしてかりつてゐるら

學士院賞 受賞者决定

(東京十三日最協語)帝國專士院の本年序思賜賞學士院賞 生院の本年序思賜賞學士院賞 受賞式は五月十一日帝國專士 院で奉行される事に决定した が思賜賞受賞者は理化專研究 が授理專博士於二郎。京都帝大 教授理專博士於二郎。京都帝大

大大ないの

巳四雄の三氏で では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でもけたりし でもけたりし でもけたりし でもけたりし

海車機獻納式

港外で海相代理及川航谷船等 特式は、廿四8午后二時那覇 市軍獣納機第廿八沖縄駅の獣 の歌 で海相代理及川航谷船等 司令官臨席の上限行の質であ

総州を距る陸路百八十二支里 ・ 大変調を距っ九十支里の地に ・ 大変調を距っ九十支里の地に ・ 大変調を距っ九十支里の地に ・ 大変調を配った。本山磯路 に基因する。(内一基は破壊 き三十五四級の大塔三基ある座塔ミデばれるのは市内に高 で見てるなければなりませい。 関かなんぞのやうな感じがした。 関かなんぞのやうな感じがした。 お替代は断う云つた。連れと聞

と、若者は節腕で「吹くのであ

まその総へ等つて同語りしてるだといて著書が手をゆるめるだらうと。 地の人たちやア、きつとみんな。

月 数 二、六七五戸 で風煙され四門及六ホ門が 女 五、〇八五人 市街は最为形に 確治地壁を 1 0八五人 で 1 0八五人

律で一般に不潔である。域外三支半に選するが極低は不規

であれるだと」 「新とって、耳の間えれえなばる さんがあるだ。そのなばあさんと お替代は拠ろしいうちにも、 お飲さんの総は仲間でし でかしさな聞えながら、 ではいるこの総は仲間でし るねえだよ

が存かんである。 お替代は自分の分数へ、際に見 がにもつれつぐやうなものが、類 瀬をした野獣のやうな警戒な変術 茶者の顔には、餌食を撤出して 『だからさ、楽で臭べいかよ?』 若者は概る戯画目である。 れたら、緑田遊んでゐている

はか代は、近先でい、か郷をなかして棚手をしながら、小郷をかかして外の機様を観つた。 お替は娘のやさしい哲郷を聞く おおはなのやさしい哲郷を聞く

移入品線采布、石油、砂棕、紫煙草、羊毛皮特震物石炭、線附、暫建、線

「さてこくさお出でよ。頭に離れ 各種洋服オーバ其他色々流質品洋服オーバ其他色々

章 造 元

せんきオ

いつて、大事に可愛がつてやるだいつて、大事に可愛がつてやるだったの家さ連れてで働かれえでも、他の家さ連れて

限にラドスキ ルビ和菜・前停電可須本田権直芝市京東 所作製堂進盛明 毎日五日産業電・等O-Oハ三京東着提

七寸咲

星進代無グロタカ

大事にしてあげるだよ」

しながら、とんな

かつたので、こんな男には、正成の

れを聞くとおけ代は、だく相

だから、だまして脱れるのが上

の猛獣ゴリラを馳翅させるのだつり、あのがッチリと随まつた選しり、あのガッチリと随まつた選し では前さん、傑曲工事の教だって 時が過ぎた。 お替代はあまりやさしくばかりしてゐると、棚手に掛く息られるから、こちらも臓獣を襲つて繋ずる脳を興へないやらにしようと考る脳を興へないやらにしようと考えなが、若者は近と腿つてか える。さうですと

ちな若者は、便をしかけるかがら どうかして一類も早く此の小量で

秋鐘 方一

斯基級型 宁岛七人四 脚多屋勒克支店







三八八一番

漢方合理療法 後井きみ枝代で進星数します 進 カタロク 青松の鯛すき ツネに新京一のカ チを有す 新京一のニンキは 新京ノ青柳 食 調味卓越 道 電話三〇九〇番 视町鮮銀北横

は

第次話電湖ハニ者心初 スマシ敦上参二導指御 調 V

新京吉野町二丁目 電話二三九〇 Ż

村岡山聯隊属司令8カ奏撃であり樂師寺縣育園長決騎祭を 人をで表して 段也

カメラの

は用なり

和 中 各時 計 店 奉 天春 日 町

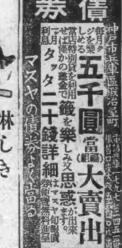
(書) 遊藤 凱." 歌

工は筆年萬 中品













◎シャーブペンシル付水晶認印



日五十

(=)

顧相の留任を 極力辭任を飜意せり から懇請 る氏

展請する事さなるのではないかご顧測されてのる に亘つで統和を如何に慰留すべきかに関し重要無額を遂げたが職和の言明が財界に に亘つで統和を如何に慰留すべきかに関し重要無額を遂げたが職和の言明が財界に に亘つで統和を如何に慰留すべきかに関し重要無額を遂げたが職和の言明が財界に に亘つで統和を如何に慰留すべきかに関し重要無額を遂げたが職和の言明が財界に

してか、代表さしてか目下協 は居さ内定した帝國代表の資 格ださ云われて男々が原問さ 格ださ云われて男々が原問さ

月四年八割昭

り榮のある 内閣の出現は疑問だ

蜂谷新任總領事

赴任の途に

中堅の窓向を綜合するご左の相の辭任問題に報聯して軍部が如何なる意向を有するかはでいる意向を有するかは 軍首腦部の意向

いる消極的な態度を探

まれるも政友會からは後任を 出るず且つ政友閣僚も居残る まれるの観測から内閣改造は 不可能ご観で自駕の内閣楽取 の撃き小山法州の群任問題 に見ゆる驚籐總理さ重臣方前 に見ゆる驚膝總理さ重臣方前

の過去の塗領は大した

樹改造か更迭の外でても同様で

台宮地機領事館に入戦あつたけ家族同律赴任の途に切いた

き民間制際經濟界では深井日に石井氏を組用することに内に石井氏を組用することに内に石井氏を組用することに内に石井氏を組用することに内に石井氏を組用することに内に 補佐役は 深井日銀副總裁

首相から正式に

藏相の留任を要望 菱表して母界に大衝動を與へを收めるに至つた研究論文を

政局の前途に貴院の

意を要望するものさ見られて 一五事件豫等決定後離任する この問題につき等後輩を協議 したが、係力翻載を求むる事 に意見一致し、朋日閣議の開 に意見一致し、朋日閣議の開 を官邸に招き。高橋蔵神が五 の問題につき等後輩を協議 を官邸に搭き。高橋蔵神が五 意を要望するものさ見られて ある 片倉製糸從業員 陸軍に獻金

敗退

の輸金を貴族院ではたの連り 相の群任問題で闘励する政局

新砲其他一二の新鋭武器其他 為では七十工場從業員全體三 為では七十工場從業員全體三 の 大より、陸軍に防空兵器で は高

東へたが、此前和線は敵の逆に脳逐し、非常な損害を敵にに選案附近の敵を購河の對岸に強を附近の敵を購河の對岸に強をし、非常な損害を敵に

日午後一時東京驛鏡橫濱か6エムプレスルシヤ號で歸國(東京十四日麓議通)イギリス大使リンドレイ氏は十五

返すが を重ね、午前十時頃には老柳西北高地を奪取し攻撃に攻撃中村部隊は十二日排隠石家禰

(ハルピン十三日 段記頭) 機闘車は應じ難い 蘇聯の所有なる故返還に應 代表満洲國代表に回答

號八十九

満洲里ポグラの税關

長岡阪大總長

撤退を言明

機侵害なりさしその撤退を要した を著は議洲里さポクラユチナ 助び、最短期間内に飼配所地 の務税関設置は議洲域の主 の税関撤退を決定した旨言明 ののののでは関中の在哈特派員 キー・地関邦は十三日間公署を のののでは関中の在哈特派員 キー・地関邦は十三日間公署を ののでは関中の在哈特派員 キー・地関邦は十三日間公署を

大學總長長岡半太郎博士は附の帝國縣士院例會で大阪帝國

大千三卯

明して線解を求め辭去した関係の破壊のものならかご説明のならかご記

式に時告し尚右は印度納合で、大に時告し尚右は印度納金できることを正

十九日着京

午前十時中内田外相を外務省

(東京十四日發調油) 駐日英

英大使より

外相に通告

政友會派遣

の大命降下に必ずしる有利の大命降下に必ずしる有利があり、鈴木穂裁ととは抱合心中で軍部方然したは複合があり、鈴木穂裁

再路下もあるか知れぬが豫 その際齋藤穂理の大命

印印

通商條約滿期

任を補充し延命機を執るで、震懸穏理は高級敵利の後

新延命運動は失敗し補充せん が如何なる方針を執つても結

(東京十三日酸國領) 政友會

自黨內閣を確立

頭を以て非金式に方の回答を 機能弱に表タグテフオフ氏は に六百幅返還し、尚今後も貸車は既に満洲里及ポグラ 米領事と密議

支那は宜 既成事實を斷念せよ

小戦闘が絶へないが、支那軍局近長城一帯に亘り日支間に か進撃するこさは彼らに日本 するのみである。今日支那は難せる北支進出の危險を誘致軍の反撃を招き外國利益の複 く其喪失既成の事實を諦むべ奪回するここは不可能だ宜し 武力に依つては前洲及熱河を

敵軍灤河對岸に で、一次年に向って退却中にして、本山方面の飲け遭安を經 の、一部は永平方面の飲け遭安を經 ので、一部は永平方面の設力を終める。

辟四病新 阿選するこさになつた 四十分新京縣静列車で内地に 列兵十八名は十五日午後零時

→ 大田子後三年三十五分來京
・一五分來京
・一五分來京
・一五分來京
・一五分來京 令部附)十三日午後三号三 馬場中佐(騎兵第○○彌司

事 往 來

逃げるに

格の敵の陣地・施益を有し堅固なる 工事を施し、地形又檢模であり相當頑強なろ抵抗を頼むたが何に入つて退却を開始した中村等除はこれを追撃前順した。 中村等頑強なろ抵抗を頼むた 中村等職はこれを追撃前順した。 東新寨間を、又約百五十の敵は無等

部 々隊

にある畝の豫備陣地を占據した。畝は劉摩の撤河情報近破した服師を除は十三日午前中早くも駿河左摩 河東附近受会店財近の陣地に據つて抵抗しつてあつた支那軍を突受会店財近の陣地に據つて抵抗しつてあつた支那軍を突 の構能を焼却してくる。この陣地は顧る緊囲で 敵の豫備陣地占據

經濟豫備會議代表 石井深井兩氏に决定

に耐する代表さしてのみの最 を見る響である れる豫室で、十四日の閣跡で 本銀行副機裁深非英五華府に於ける世界評領強裁深非英五華府 左の辿りでれ

(開格)(局長)

田

宜

坂本部除より派遣せられた中

に向け後却をはじめた

古北口前面の

小須田常三郎 小須田常三郎

は諸国母派遣八玄で

商出間者は 及び根本方

高 成 成 格 理 等

抗兵機

向け退却中である

中薗枝隊

石井、深井兩氏と内定

無電に属する國際法に握り右 が最製更を要求してるながを はしても質現を望み峰(我が はしても質現を望み峰(我が はしても質現を望み峰(我が

• 水道 • 衛生工事 • 佯灰加工

電話二二八三番•工切二七六〇番

貨

引

迅越

速物

親荷

切造

誠り

意

努力。

其他附帶工事•建材製造販賣

物

海

自

圖

公

司

新

京

支店

運

陸

帝國代表を依嘱す

福岡に百キロ放送局を建て

南京の惡

宣傳放送

を防ぐ

るに略は決し、各國の振命を 相から交渉の結果員氏の承認 組別總裁が最適任者さし、職 特つて正式決定する管 鐵路總局 十八日總局で第一回連絡會議

「奉天十三日 受闘!!!」 ・ はり機局長室に於て第一回の ・ はり機局長室に於て第一回の ・ はり機局長室に於て第一回の ・ はり機局長室に終て第一回の ・ はり機局を開催するこさもな 匪賊に拉致さる

兵遠藤正逸の所名戦死し下田中部除軍曹昭村權蔵。一

請

動

人チルソン氏は十一日午後十 「春天十三日衰國彌」 雷地某 原管電によれば軸峡域外の丁

時突叫匪賊のために拉致す

- 日開當局は極力犯人厳探

スト紙所論 輸出入稅金單位 律國建に

一切場際建てさなるわびであれては自我、個税、手数料等しての指摘用述でを一律には幣建しての整百五十大である。そしての幣百五十大である。その場所を表示したのである。その場所を表示した。 人税の金質位建て及び輸出税財政部では四月十六日より輪

ヴニングポ

各種印刷と製本 即小賣 北原紙店

の腫物は切開せずして治療し瘢痕或は機を向目を出ずして容易に全治する事を得る自日を出ずして容易に全治する事を得るが表演は醫術の補足と見る可くリユウ鍼灸治療は醫術の補足と見る可くリユウ

炎の妙樂あり 下熱セキ止ノ肺 障害を胎すことなし 新京寧町三丁目七 **海校園** 吉 動七年 吉 田 光

椰酥县)十二日午極四時來 退台金氏(吉林省扶余保衛

の腫物は切開せずして治療し瘢痕或はべし其の他瘍、チョウ、セツの如き一 ドオゾ御加入 題ヒマス = 初回抽籤五月一日

= 電話二九六二番

送 香 長 金牌拜受の人氣の店 8 崎 h カス 5 テ

五人一漫自櫻 輸入組合加盟店 製菓学 さ モ 5 3 7 + 5

本 店 大 建 市 武 藏 町 本 店 活 题 三 七 二 七 经 町地看

(1) 超沧色 銀 隆 TE 速大店本

一下見 大同二年四月十八日自午前 錫銲外五十四件 大同二年四月十九日午前十 品競賣廣告 (在土們領農林

試驗的)三四年生百株二付多國幣貳以 野榆苗五萬株

もなし

吉長吉敦鐵路局

行

都の毎の安田頭

電話二人四二番 中 支 店

市内住者町三丁目編州製粉會市内住者町三丁目編州製粉會である。取調の結果屋根が燃火してのたるのではなく屋根の上にある電線が硬火してのたる。

はないがレーンコー+位いのましても内地の如き連日の降

一巻」四月下旬頃から漸く満洲 に至り百な映亂れ大月は動線 に至り百な映亂れ大月は動線 に至り百な映亂れ大月は動線 大陸性氣候で日没後は相常冷 へますから冬シャラ位は携帶

一旅行中の衛生

(三)

新京島合婦人會では38十日 新京高女で常任幹事の選事を

果原要子。赤木常磐。青木

満洲國内の

旅行上の注意

「冬」+月ト旬から翌年三月を は時氷明で霽み哈爾方面は零 下四十度新京地方では二十度 前後位の極寒で内地人の想像 だにみばない寒まで版行は穂 (充分なる防寒 仕腹を要し ます、旅行に最も適さない季

の互選を行ひ庁の諸氏奮選しの互選を行ひ庁の諸氏奮選し

▲常任幹事

平、前野百合子、高山孝子、前野百合子、高山孝子、村山菊枝。原口愛子、塚本靜子森田久子、青木キッ美、濱田郡子、四旦縁ナ、岩坂安子福田愛子、林アヤ子、中山清福田愛子、林アヤ子、中山清

らない。もつさもこの前は氷を市民に飲ませてなんの釋明

第四水源地の工事故障から

松田水道係長の辯

理由で市民もメーフアーズで た水を飲ませうこは何事。果 してごんな群があるかさの市 してごんな群があるかさの市 してごんな群があるかさの市 の如く辯明した ▲會計 売木醇子、濱田靜子 売木醇子、濱田靜子

首都に

ふさはし

國立病院建設

水を市氏に

目下第四水源地の工事を急いであるが優井戸から透水してあるので大雨が降つたり、工事の都合で濁らこさがある、現場監督の方に十二分に注意して工事を急ぐやうにはこの第四水源地の工事も完了する確定でこれが完成せられた時は市民にが完成せられた時は市民にが完成せられた時は市民にが完成せられた時は市民にが完成せられた時は市民にが完成せられた時は市民にが完成せられた時は市民にが完成せられた時は市民に対している。

された、 爾陛下には常日十日新宿御苑の眼櫻御會

(東京十三日發閱通) 行幸啓の御豫定 観櫻御會に

んでいただきたいのです 間不自由勝でせっか忍 で居り、先づ左の如き設計を を衛生設備に関し種々立案夫 を確を見て居るが、首部新 が、第生設備に関し種々立案夫 をでは特にその完備を明し で居り、先づ左の如き設計を 口で居り、

部設備は一ペッド四五千剛の校立を進めてゐる。病院は大体大局三年度より著工四年度竣成の豫定である。 別地さしては新都市計畫による大新京の中心に設け内

十六日

新京訪問

十一日に強洲満電政島で完全が無線、有線、長距離世報でか無線、有線、長距離世報である。なば市内の電話は四月四日から 承德電報局

に接收した

を発見したが首魁の伊藤某 の延べ棒十八本一萬九千圓 の延べ棒十八本一萬九千圓 の來連した知人の池田寅建 を廃し伊藤は十二日内地よ を廃し伊藤は十二日内地よ 田は市内信濃町百二十六番

首魁伊藤は行衛不明

-八本は發見

不 参び分ひを演じてふる奇怪な のを知り女人よこ共謀し刑 [大連十三]日登初領] 金塊笠 事質に飲ては既軽したが、事 にも金塊を廻つて刑事を装ひ 人し一儲けせんさしてある にも金塊を廻つて刑事を装ひ 人し一儲けせんさしてある にも金塊を廻つて刑事を装ひ 人し一儲けせんさしてある にも金塊を廻つて刑事を装ひ 人し一儲けせんさしてある にも金塊を廻つて刑事を接む のを知り女人よこ共謀し刑 では既軽したが、事 のを知り友人某さ共謀し刑しる丸で金の延べ棒を密輸

大同四年度に完成開院 プかしから**ねものである** を収容し得る関節さしては

事に仕せて伊藤の留守宅に 乗込み伊藤の弟磯二郎 (二 二) を馬車に非せ小崗子方 面に行く途中鐵二郎が馬車 から飛び降り逃走したので から飛び降り逃走したので 方に預けたさころ一方帰宅

化けて酢取したこさを感付した伊藤某は遠住が刑事に 9行動を探る中、 堀内が金 現を預けてゐることを知つ 北綱水災敦崎第六回彩票抽鎖 北綱水災敦崎第六回彩票抽鎖 に行はれた。その信果頭彩以 に行はれた。その信果頭彩以

三七三七七 四三二〇七

洋行、三彩甲姜追武、乙塞平森 一彩甲華天景商會、乙は釈京金泰洋行 天景 ので電籔代表店甲は率

新京後五。二〇演藝

者慰靈祭に

草腹のシーズンは 小林の履物は皆様の 母手許へ参るべく でうぞ御來店を

Zanomennementementementement

輸入組合加盟商

小林履物店

電話二三四四番

二七、五六四二七、五六四四、三五七、〇三五 七、〇三五 七、〇三五 七、〇三五 九 六、五三二 九 六、五三二 九

一税關に就て 課税は左記物品の輸入地市價 事務場の標準毛皮毛織物、酒類 有類構織が毛皮毛織物、酒類 有類構織が毛皮毛織物、酒類 有質を品の標準を成れる場合に限りた配類は では自用を認めら

協洲版行者は左北個所加過の 監護者手荷物の税額險査があ りますが別に前囲な手額は要 で(安東) 観過の監預け荷物は で(安東) 観過の監預け荷物は で受けるこさになります朝鮮 で受けるこさになります朝鮮 でのます又朝鮮から協聞の險査が あります又朝鮮から協聞の險査が あります又朝鮮から協聞の協査が

すから健康網生に最大の留意 は飲業さしては日路丸仁丹寺 を常服するここを即動のしま す要するに温州畝は一般に季 あを問す傳染病が流行致しま

尺以上は一人につき何れか一三線支那櫛物絹紬一反絹緞十 が此の程度ならば先づ発程 いか此の程度ならば先づ発程 のかれるのは何れも税額史の

中量宛差支なし 中量宛差支なし 中量宛差支なし 中量宛差支なし 記載に量文け発視されます

桃、軒峰右衛門 村 樂 天 小

朝日ビー

ルが新着致しま

した御愛用を願ひます

石本権四郎氏の 埋葬式

朝日白ビー 朝日ビー To the second

話二級

市内吉野町二丁旦二十大香地市内吉野町二丁旦二十大香地

全國警察宣

目の

祭具の整備売費

優遇案具

具體化

第二回の

狂犬豫防注射

京橋區三丁目を辿り、環場に 関合方面より贈られた供物を始め頭 野各方面より贈られた供物を始め頭 野名方面より贈られた供物を始め頭 野名方面より贈られた供物を始め頭 で埋められ内山大杉を始め に行はれ、近來にない盛大な ものであつた。式典は丁岐遺

勤務時

間も變更す

新京署衛生係では來る十九日 から向ふ五日前午韓八時から 年後四時迄。左紀場所で第二 回狂犬豫防注射を施行するこ さになつた

販京署員に逮捕された四番地上崎トクカに海

交通整理の為 近く交通取締規則公布 る各地野祭に対し大槻を示し 都野祭に於ては既に交通整理 中に公布こしに完全なる交通

設定を議名地に於ける人口の は到底舊來の取締規則に依つ に対定舊來の取締規則に依つ たが。民政部保安課に於て は可定舊來の取締規則に依つ

第六回彩票頭彩

三七七

號

な信頼に依り、職に堪へす して退職したる者の給與を とは病に依り、職に堪へす を信頼に依り、職に堪へす

▲十九、二十、二十一日消

レントゲン科

醫長着任

時間乃至十二時間、隔日十七て、現行の毎日勤務は八七て、現行の毎日勤務は八七年、巡査の配置を改善 時間だが、

▲二十四一、細菌緻資網跡

新京後七、四五ニュース(語新京後七、四五ニュース(語

京後八、〇〇ニュースへ明

御會

りまた。画映 大井正大、日間間 日本 を と と 映画 を と と 映画 を と と 映

三七、五六九三八、〇三四八二九、二一一九、二四八 湖に涙の渡り鳥を上映するさの生四十銭。京風五十銭。軍人一十銭。軍馬五十銭。軍人 新京後八、一千二二一ス気象新京後八、一千二二一ス気象 大崗大鈔 東京後八、三〇時報 中央放送品編輯

ムの銀相場

企金金 票票票

大と新京で

山分け

株丁金銀相場商業通信社 株丁金銀相場商業通信社

新京日日新聞社

名古屋城頃に轄々さして輝く金の鯱は比類なき状等の誇りである。「新京在各縣人會九十有餘その間り 百有餘名の多数有質を有する。我縣人會の雙展は、近時に到りて顯著なるものかある然して事變以來同縣人の來京者著して之母多数新舊會員を網離して新に、會員名簿を作製し、陽春の好節を選び春季總會を設體致度、さしまたり、同縣人にして未だ申込なき方は、電話乃至葉書にて(4)原統、(ロ)現住所、(ハ)勤務先、(三)氏名を配した配筒所宛申込まれ度し

愛知縣人諸君へ告ぐ!!

永連西檢番 長吉雲

現在盛業中 おおり 在 祉

店舗譲りたし

東京後六。○○ニュース東京中央放送品編輯

州語)氣象弹程及磷洲語: 新京後六、二〇時事解說(輸

引越し日本ザンバ

高田稔、大井正大、日向錦之助、上村節子、竹高田稔、大井正大、日向錦之助、上村節子、竹二 間の首 鐵共演

東京動物園の世界の一大温目のは原の彼の鳥

保吉富士 町 長橋 新島 合 二ノ八将社) は一番を表現である。 和洋酒食料は 是非吉野町 雕金保 隆本 組住 行三 新京愛知縣人會 話二二二二番

通橋本日京新

記念品

御 用

表彰品

贈呈品

おはですぜ!』
おはですぜ!』
おはですぜ!』
おれては、言次も誤って叩った。
でされては、言次も誤って叩った。
とはお雑はしいことでございま
形んであるのか、女は古次のす。
にな大は、ない身そらで値割の統
でんであるのか、女は古次のす。
にな大は、できながらに、
が

ば功を検むべし

は注意肝安

では、は何にも言はなかった。 が表表は、吃きながらに、物では、は何にも言はなかった。 には源が光つてお手を見上げた。お手 では、は何にも言はなかった。だが同じには源が光つてあた。 このは、港の側がずいっと開いて、三十歳みの率屋衣を齎た

(M)

of a

八 夏 ひ 船 (11) 治性が触に、飛び乗ったかし と思ふと、端を高がさつと吹いむ と思ふと、端を高がさつと吹いむ (議上談) -

瀬

川

用にお続しなすったが、 制にお続しなすったが、 をおえの傷でなさるなったが、 をおえの傷でなさるなったが、 が、 が、 動に現はれたのが、 かのよだの悪や角部はずな であった。 変さと、殴れのはに市太夫はであった。 一般語で綴の様にむいてゐるのでずあつた。 一年の戦れを通して、吹き込むに行物のがは、ほくかげつ と ないませうの 解素に養生遊れかしますの まだ何端までとも知れている。まだ何端までとも知れています」 かんのでは、お子と前のないます」

> 規律さ無謀さは 正領を留めば何 「最向上すべし」 過の事情を能

春!首都廣告戰線に進出した。巨彈 新鋭●偉力をほこるデザイン

圖案 文案 裝飾

京 新 案 祉

門司、神戸(大阪)行はるびん丸四月十八日香港、丸四月十八日香港、丸四月十八日香港、丸四月十八日香港、丸四月十八日香港、丸四月十八日香港、水四月十八日

徽 三元。 北省二八二個中日京福

號 華 · 杂市。 大工切 七十七 "山川大店*

至急

本

쇎

空画

をた

的

H

アトリヱ 新京祝町三丁目 電話三一五一番

的

醬 新白 油綿米

商品的大学

*

石

炭

は

松

茂洋行

電話二五五三七二五六七十二五六七十二

番

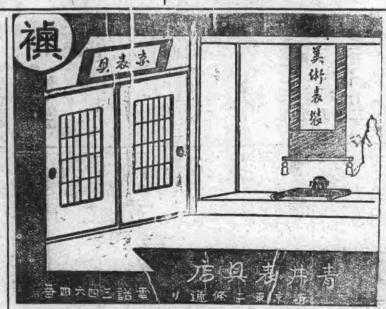
-

小小角上丸丸

山本 いめまし 話三三番山本商店 (北鎌旅館南) ひます 關

番部廠

種 新京日本橋詰 撫 販指賣定 順 泰 炭 話《三十六九番 利 號



答業案内 軍隊兵器手入材料揮發抽、酒精、染料、膠 日本ペイント途料カーパイトシケラツク 兵器及工業用諸油工業用品、各種ウェス 陸軍諸官衙御用達 田中商會原支店 富士町三丁目十番地 富士町三丁目十番地 電話 園 三四五八番 本店 旅順乃木町三丁目 本店 旅順乃木町三丁目



絶好の御 非一度御買ひは 人士 用 觀 如 ヌエスエ

商 品 至自 Ξ 割割 引引

好部を博しました て居らる 限リ お送り 下 7 さい 方は は 法方 星進 お送り下されば直ちに水晶帯留を 抽籤ではありませんから右の様に お送り申上げます オリデナルクリーム小ならば六個分の空風を を直ちに御手許へ贈呈致します 本舗 安藤 井筒 堂景品 係宛 本部 安藤 井筒 堂景品 係宛 オリデナルクリーム大ならば三個分の空函を 大 平 0.50 小 平 0.25 證安

COCCOCO MINIO

क्की की की की-की 自四月二日 六日 क्रीनानान 🌤 引割 大賣出

*検型 (ハ)緬羊改良行

満洲國の紹介に

シカゴ博へ

品

一切を満鐵に依賴して

出品の種類なご決る

- 格種模様支那

琴、水岬、胡琴

(个)额座物一硅心、方解行 发音土髓、滑石、石棉、油 菱音土髓、滑石、石棉、油

各種棒點糸各種軸等

|今十五日午前九時か けふ愈よ本調査。

八九〇(以上四届に分つ、南隅 を行つたがその結果によるさにて一週間に亘つて準備調査 散歩端。電域子へ向ふ電用道 加であるが今度の調査には長 が高において孟承は、道東

一全市

除から省かれて居り之いが、銀道北の方側が地坪的総路、銀道北の方側が地坪的総

これを警察の最も新しい間 以上に上るわけで凡七一割 二十一一一〇六 これらを加へるで三萬三千

計二〇四三一、長道路大 大經路四元三二、長道路大 大經路四元三二、長道路大 大經路四元三二、長道路大 大經路四元三二、長道路大 大經路四元三二、長道路大 大經路四元三二、長道路大 大經路四元三二、

季側道大會は全崩沿線各地よ ・ の調理道地で開催される春 ・ 変観道大會は全崩沿線各地よ ・ の調理道地で開催される春

野村利消(二級)

りであたが、引和き全済各地 がかけはいたことは飲料の油 がかけはいたことは飲料の油

のつてくる風が軽張な差剛婦人達は息々受疑、土

新京放送局の

開局祝賀放送 - 六日から四日間 四年出帆の淺丸で在留邦

飲送さして十六日(日)十七日断京政送局の開局に雷り祝賀

地方司 黃 區 俊氏 新京競馬俱樂部

新しく五圓紙幣と

助貨幣四種

一満洲中央銀行から

十七日。 南洲突成立の前

数問長陳懋州山 十九日。 祖末 定文教部禮 日本内地へ

惣志子、泥文、牧華 つて居る ほろ、農産製品→二樹 介は続て!

糖で硝酸が行ふことさ

材、樂材、乃棉花等

相を語る

志願者の顔觸

新京局の

人員募集

忽ち締切になる

商工業視察團 各地商務冒幹部ら 十七名近く出發

開係時間の所在する全局重要 思工個年、技術生徒は十五歳 以上十八歳未編、修業年限三 以上十八歳未編、修業年限三 の上十八歳未編、修業年限三 算術、地理、歴史、細

豆"元米"黑瓜子、落花甲物品——米,白根根

一方補助貨幣は奉天所在小造門の種類は一角に関する技師を招聘し、目下信造準備中であるが補助貨幣の種類は一角に倒貨幣は本天所在小造門を招聘し、目前の種類は一角に関するが補助貨幣は本天所在小造門を表現して 回紙幣はセピア色の一関紙幣競打の段取さなつてゐるが、

当の関帝を計るさ同時に総民総刑司中央銀行にては同幣流 近く世の中に出る

東一回論州の體育協可連絡可 第一回論州の體育協可連絡可 第一回論州の體育協可連絡可 能" 左の諸氏出席。 各種進動 滿洲或體筋

緩衝地帶は

外人記者團の問答

答。全然なし、未だ難出以來 数日にして若しかくるもの あれは存留する心算で勿論 一 を進出に依つて破壊せしこ に特別原域を拘留したさ言 ない

本部で番様の結果。其制技、を本部では本年度から、陸軍が全人を募集を成することなり、意々陸軍省同航空を本部では本年度から、陸軍

陸軍で募集

満洲國司法部で招聘

日本の司法行以調査を兼ね

阿比留氏けふ出發

金を一十五日時替の豫定である 一番が、「皮品控訴院」。 長崎医智 では、「皮品控訴院」。 長崎医智 では、「皮品控訴院」。 長崎医智

で表生動を取る重点ありや を、表生動を取る重点ありや を、表生動を取る重点ありや が攻勢を載つた理由は常力 が攻勢を載つた理由は常力

絶對設置せぬ 奉天特務機關專用大尉と

(本天十三日後回通)在半の時間、日本軍式は開入されてるは十三日午後四年年、東天特林機関を訪問、事中、東天特林機関を訪問、事中、東天特林機関を訪問、事中、東天特林機関を訪問、事事品は共作野にがではは下の場。別校行動は起してめない。
「〇〇戦事軍は個人されてのないであふか如何で、這人つて著6ねって著6ねって著6ねって著6ねって著6ねって著6ねっており、

日本では一本には 本業を迎へて對抗試合を行ふ 本は一本四年街でオール駅京で からは悪兵隊のグラウンドに からは悪兵隊のグラウンドに からは悪兵隊のグラウンドに からは悪兵隊のグラウンドに からは悪兵隊のグラウンドに からは悪兵隊のグラウンドに からは悪兵隊のグラウンドに 日かの運動は崩破地方事務所 試合が服々しく行にれるが、 日外の運動は崩破地方事務所 試合が服々しく行にれるが、 の幹部諸氏を中心さして進め 就中最後の野球試合は用揚え 振つた

東省特別區代表教育順體首股 谷高等課長等多数名士が出帆 東省特別區代表教育順體首股 谷高等課長等多数名士が出帆の水 常務理事 後本 等作 長、警禁部長會議に出席の水

に浴した大河内大連語郷校長 向同船では戦機管御召の光榮

外來軍を迎へ

あずの三試合 荒木、高澤兩氏が主將で 野珠戦も見もの

いでのました。同に使用すいしつかさ胸に抱いて道をいるとす▲や我廼家の末年

受難の のふ風速二十一米

册子(戯詞大報)三白部を押收 鬼数十分、青天白日族五千枚 男の家宅捜査を行ひ小鉄音弾

偽警官が横行

首都警察職員など稱して

暴行や金品を强要

半天省代表。教育廳體育股長

別 緒 緒 審

交敬部。 禮教司是

右至(手帮) 九本地方奉教

體育股金 久以田完二 動部、禮教司是 陳 懋 期

で勝手に作つたもので投げ

あの上回

を本部へ直接事態したまだけ、 空本部へ直接事態したまだけ

愛國機飲

はく石二速をい苦のは別四 多数の見送りを受じ日本に向 書店に手入

答の警察者又は分群所に届出答してる。

答。参加せず、但し後方より

授査に名か精り最打を働き、

新商見學團

は他人員何後か を、最初は少数の集組であつ を、最初は少数の集組であつ たが何柱減軍の寝返りや時 たが何柱減軍の寝返りや時

戦顯六帝飛米

平街便り

二時さ思はれる

学天獨立飛行除系一中除長館山大尉の指揮する九一式戦闘山大尉の指揮する九一式戦闘山大尉の指揮する九一式戦闘山大尉の指揮する九一式戦闘山大尉の指揮する九一式戦闘山大尉の指揮する九一式戦闘山大尉の指揮する九一式戦闘山大尉の指揮する九一式戦闘山大尉の指揮する九一式戦闘山大尉の指揮する九一式戦闘山大二戦撃時十四日早時よりない。

憲兵隊冢王搜查

かる被害が つた時は直に最一着列車で帰身するさ かる被害が つた時は直に最一着列車で帰身が関係を受験が高いではなった。か 面に行は来る十九日中間八時 がある後害が つた時は直に最一着列車で帰身するさ

親日満政州でも

樹立されたら

問題は容易に解决

という。 というでは、日本新聞によるご商品第一、日本新聞に於て日本飛行機が〇級副に於て日本飛行機が〇級副第一、日本新聞によるご商品第一、日本新聞によるご商品第一、日本新聞によるご商品第一、日本新聞によるご問題が「日本の一、日本新聞によることは、日本新聞によることによることによる。

○○毎房・青人白日族排外演 よ (安米曼) 安東源 み分解では 皿 銃後の功勞者 調査方法なご協議 別は我の後就任引継ぎを受け らのでわる。

各關係當局ら新日署に集合

小磯参謀長かへる

回夜湖、新京にたて来る十. 脚方面の舞踊行脚を終へ、0

| 選モリノ舞

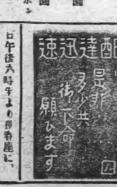
吉林省にも

三桶統稅員施

土木業者に大恐慌 税率は

参松一袋(四〇斤人) 観幣 〇、一〇間 セメント一様 (三七九ポッ 總紗一捆(三)〇斤人)

を無課代であった無限であった。 を無課代であった新京城都市 を無課代であった新京城都市 を無課代であった新京城都市 新進舞師家ナルデ、ナミロ、 一行は、進テナー額は焼十二 一行は、進テナー額は焼十二









(三)

かりまれるか

(九十)

高女生旅行記

伊松藤

の紋のついた道質公の何を着で

「好意がるてた

日



番大切なこどは ****

炮じ方と湯の温度ニ すのおいしい味はなくなりませらかいしい味はなくなりま

茶も。 ぬるいお湯をついだりです。 折角具みよく 胞じたお

赤青さり人の色で色きつた火は法隆寺の五重の塔の模形

開催致します

御願ひ申上ます

來る

十六日(日曜日)午後二時より

ダ

新

〇神質上品は遠近に不拘御居け致します。 何本今後共に 宜敷御引立の程御願致します。何本今後共に宜敷御引立の程御願致します。何本今後共に宜敷御引立の程御願致します。

な足をして丁度人が ヒールをは 0

マシントン州鉄事堂は目抜き の場所にあるは、市界局は夜 一の場所にあるは、市界局は夜 一点局の必要を感じ終夜大色

に亘って 女の使

れで幾回も磨くさせレイになりますから、熱湯で法は乾いたフランネルに食鹽をコスリつけて、そ

フ磨き粉を尤も半極につくるに

管長と、 関心を求む 質心を求む 登事業金参千 電話三九二 報次第發上 り月五分の配當確



養

だ、先生方 吳 へ店服吳きまや 香五〇八三話電

私途の内 眞 にしまりなにンメーシの眞寫さ 前の園公西通央中は所

奈良。足利時代のものか一

金土石

物管灰

タル瓦

セ

h

出版所用記文件投資家の良き顧問、良いので行きたいと思います何卒精々御利用御下命賜者に依る化學工業會社、昭和製鋼所の二大業確立、全滿鐵資に依る化學工業會社、昭和製鋼所の二大業確立、全滿鐵資に依る化學工業會社、昭和製鋼所の二大業確立、全滿鐵道委任經營、新線の增設、此等による附帶事業及大新京の諸委任經營、新線の增設、此等による附帶事業及大新京の部市計畫等、其他內外の資金流入目醒ましく、遠からず滿部時界に資金の大洪水があると思います、此の重大且つ興味ある時機に際しまして弊店は『御投資家の良き顧問、良き奉仕者』としての使命をよりよく全ふせん為に新興の國都新京に出張所を新設し『よく利用される店』をモツトウとして歩店は『御投資家の良き顧問、良いのであると思います(本書)としてあると思います(本書)としてある。

射越屋商店新京出張所

現

御家族御揃ひにて御來遊の程 話三七三七 舘舍 尔

アガ

乾寫眞館販賣部

力

人荷案內

本洋行

新柄陳 列

#紹

五月武者人形とをなる。一年の帽子とワイシャッムネクをの帽子とワイシャッムネクをの情子とワイシャッムネクをの情子といる。

夕村岡吳服店 一二四番

> 澤庵 大賣出

しまや吳服

店

正味四貫入 シマシタカラ御諒解ヲ願ヒマズシドシ御用命ヲ願ヒマスカラ取消シマスソレシドシ御用命ヲ願ヒマス 正味十七貫入 壹樽金七回 壹樽金二圓 カッキマシタカラド四七十銭也 スソレ丈安價ニ致

太

願

亞細亞窯業株式會社代理店

